

子規・漱石・極堂 生誕150年 子規顕彰 全国俳句・短歌大会

入賞作品紹介

※□は複数の選者に選ばれた作品
(掲載作品以外も含む)

正岡子規の業績を受け継ぎ、俳句・短歌の普及を図る「第52回子規顕彰全国俳句大会」が9月23日に開催されました(「第35回子規顕彰全国短歌大会」は台風のため中止)。今年の子規・漱石・極堂生誕150年という節目の年に開催する記念の大会のため、俳句大会では選者を増やし、記念賞も設定しました。全国俳句大会の募集句9,913句、当日句342句のうち、記念賞5句と特選51句を、全国短歌大会は1,559首のうち上位4賞、後援賞5賞および特選15首を紹介します。(敬称略)

第52回 全国俳句大会

- 募集句**
- 生誕一五〇年記念賞五句**
- 文部科学大臣賞**
- 寮を焚く音がうがうとみどりの夜
栗田 千代子(静岡県)
- 愛媛県知事賞**
- 伊予に薫風漱石のデス・マスク
芳谷 妙子(松山市)
- 松山市長賞**
- 息をするやうにゆるびて蝉の羽化
渡部 智江(新潟県)
- 松山市教育長賞**
- 子離れに似たり一人の雛納め
藤井 香子(山口県)
- 子規記念博物館館長賞**
- 子規の筆律の和鉄あたたかし
土居ノ内 寛子(東京都)

- 特選三十句**
- 稲畑 汀子選**
- ベルリンの壁を見てきし夏帽子
仙波 節子(松山市)
- たをやかに見えてしたたか白牡丹
出口 裕興(東京都)
- 草笛のかすれて夫の老いにけり
玉井 瑛子(鳥取県)
- 偏食のなくなつてゐるし帰省の子
丹 経子(松山市)
- 子離れに似たり一人の雛納め
藤井 香子(山口県)
- 宮坂 静生選**
- 微生物でもう食べ物でなくなりし
池田 純子(岡山市)
- ひとたびは暮れて岬の暮れかぬる
長野 さえみ(今治市)
- 露けさに人は別れを誓ひぬ
湯川 雅(香川県)
- 鳥渡る古都は小さき空を抱く
板倉 孝敬(神奈川県)
- 息をするやうにゆるびて蝉の羽化
渡部 智江(新潟県)

- 鈴木 貞雄選**
- 忌憚なき友の句評や癡祭忌
喜来 富士子(徳島県)
- 左右の手に亡き子の重み梅若忌
松沢 節子(山梨県)
- 寮を焚く音がうがうとみどりの夜
栗田 千代子(静岡県)
- 刻銘を撫づる手あまた沖繩忌
渦岡 くみ子(松山市)
- 陶風鈴故里の音母の声
増元 晶尚(松山市)
- 柴田 佐知子選
- 子規の筆律の和鉄あたたかし
土居ノ内 寛子(東京都)
- 存へて食細りけり癡祭忌
塚本 治彦(神奈川県)
- 父の日や働く父の記憶のみ
木原 美寿子(西条市)
- 譲られし席に妻呼ぶ初電車
稲井 夏焔(西条市)
- 夏の炉の照らして太き父の節
松井 憲一(秋田県)
- 井上 康明選
- 伊予に薫風漱石のデス・マスク
芳谷 妙子(松山市)

- 当日句**
- 特選二十一句**
- 稲畑 汀子選**
- 爽やかに聞き流すことありにけり
上甲 澄子(西予市)
- 炎天を来て滝不動仰ぎけり
芥川 良美(西条市)
- 東京は少雨と暑中見舞かな
多田 美江子(松山市)
- 太陽のひと色を占め濃紫陽花
河野 一三子(大分県)
- 仏法僧山頭火まだ寝つかれず
久野 洋子(愛知県)
- 江崎 紀和子選**
- 水彩から油彩へ変る青山河
牟田 タケ子(佐賀県)
- 風青し紙飛行機に反りつけて
池川 紀子(東温市)
- 少年の木の匂ひして甲虫
板倉 眩泉(大洲市)
- 毛虫焼く出さぬ手紙を焼くやうに
竹本 桂子(久万高原町)
- 壁ぎはにもたれてをりし螢の夜
豊島 博子(松山市)

- 会へばまた一から話す秋日和
肥塚 英子(香川県)
- 晴れてゆく空の明るき曼珠沙華
石野 桂子(西予市)
- 高岡 周子選**
- 鬼灯を鳴らすこととは伝はらず
三瀬 教世(西予市)
- 庖丁をとき師に預け涼新た
玉井 セツ子(松山市)
- 子規の辺にいつも人の輪目雀鳴く
鷹尾 明美(松山市)
- 江崎 紀和子選**
- 流灯のうなづきながら遠ざかる
久門 ヨシエ(西条市)
- 絶叫の屈きしところまで花野
宍野 宏治(松山市)
- 胡麻叩くころかな母がうなじに
平松 良子(岡山市)
- 渡邊 孤鶯選
- 流灯のうなづきながら遠ざかる
久門 ヨシエ(西条市)
- 墨の香の子規の玉章涼新た
出口 裕興(東京都)

- 糸瓜忌や伊予に生まれて句をつくり
芥川 卓(東京都)
- 木下 節子選**
- 秋高し高しと赤子差し上げて
坂本 公子(松山市)
- 稲刈つて夕日どかんと現るる
松田 かをり(松山市)
- 押入れの奥にグローブ癡祭忌
橋本 法子(松山市)
- 福谷 俊子選**
- 子規の辺にいつも人の輪目雀鳴く
鷹尾 明美(松山市)
- 子規ふつと息づく月の澄みにけり
芳谷 妙子(松山市)
- 湾ふかく噴火口あり星月夜
梶谷 節子(広島県)
- 横田 青天子選**
- 遠かなかなみんな帰つてしまひけり
岡田 早苗(松山市)
- 天守閣帰る燕として高く
平 英子(大分県)
- 絶叫の屈きしところまで花野
宍野 宏治(松山市)

第35回 全国短歌大会

- 上位四賞**
- 文部科学大臣賞**
- 登り来し島の畑に鬱々とソーラーパネルが夏日を反す
香川 哲三(広島県)
- 愛媛県知事賞**
- 地曳き網仕掛けつつ走る網船の波は間を置き磯岸を打つ
加賀山 弘美(宇和島市)
- 松山市長賞**
- お疲れと義足を外すアスリート三段跳びの砂がこぼれる
波多野 保延(大分県)
- 松山市教育長賞**
- 真つ白な心じゃきつと疲れるよ落書きしたり色を塗ろうよ
小橋 辰矢(岡山市)

- 後援賞五賞**
- 現代歌人協会子規記念賞**
- 明日には伐採される大銀杏目を閉じジュラ紀の雨音をきく
平山 繁美(今治市)
- 日本歌人クラブ賞**
- 自衛隊に定年迎ふるわが夫笑顔の講習ゆくりなく受く
辻田 悦子(三重県)
- 短歌研究社賞**
- コンビニの灯めざして里山より猪来たるがらしの夜を
徳永 康夫(新居浜市)

- 「短歌」編集部賞**
- 海に立つ油田の櫓翳り来て蛍のごとき灯り見え初む
夏井 寛治(新潟県)
- 現代短歌社賞**
- ゼロ三つの値札くわえた鬼おこせにらみをきかす魚屋の笹
岩本 幸久(広島県)
- 特選十五首**
- 秋葉 四郎選**
- 登り来し島の畑に鬱々とソーラーパネルが夏日を反す
香川 哲三(広島県)

- 自衛隊に定年迎ふるわが夫笑顔の講習ゆくりなく受く
辻田 悦子(三重県)
- 天才は時にこうして生まれ来る藤井聡太の進撃続く
赤松 菊夫(福岡県)
- 永田 和宏選**
- 夏の部の厚さを歳時記誇りをり中村草田男八月に逝く
庭野 治男(東京都)
- 「あつこか」素頓狂な声出して旅人の足止む愚陀仏庵跡
向井 よしこ(伊予市)
- 地曳き網仕掛けつつ走る網船の波は間を置き磯岸を打つ
加賀山 弘美(宇和島市)

- 坂井 修一選**
- 明日には伐採される大銀杏目を閉じジュラ紀の雨音をきく
平山 繁美(今治市)
- 真つ白な心じゃきつと疲れるよ落書きしたり色を塗ろうよ
小橋 辰矢(岡山市)
- ゼロ三つの値札くわえた鬼おこせにらみをきかす魚屋の笹
岩本 幸久(広島県)
- 倉林 美千子選**
- ロボットも未知なる事の多すぎて廃炉作業に苦戦している
板田 一夫(兵庫県)

- コンビニの灯めざして里山より猪来たるがらしの夜を
徳永 康夫(新居浜市)
- 海に立つ油田の櫓翳り来て蛍のごとき灯り見え初む
夏井 寛治(新潟県)
- 尾形 冴子選**
- お疲れと義足を外すアスリート三段跳びの砂がこぼれる
波多野 保延(大分県)
- 地曳き網仕掛けつつ走る網船の波は間を置き磯岸を打つ
加賀山 弘美(宇和島市)
- 秋日和の高舞ふこの里に捨つるすべなき汚染土積まる
吉原 瑞雲(福島県)